

2024. 3 月

# 女性チャレンジ応援拠点だより



コラム

## 「現在に織り込まれるあなたの未来」

今年は桜の開花もはやくて、年度末でばたばたしていても、お花見の予定を立てたくなくなります。満開の花を愛でるのは醍醐味ですが、その前の咲き始めや、散って間もない姿もなかなか風情があります。見にくる人も少ないので、侘び、寂びにひたることもできますね。

さて今年度の「女性チャレンジ応援だより」も最終回になりました。3月締めくくりの『A | 実用元年、際立つ〈あなたならでは〉の想い、チャレンジ』は、「現在に織り込まれるあなたの未来」です。あなたが意を決し、ふみだしたチャレンジ、その途上にはさまざまな出会い、出来事がつらくなります。それらの中には、現時点ではまったく気づかない、年月が経って初めて意味をもつ、まるで現在に未来が織り込まれているような、暗示的なものが潜んでいる場合もある、というお話です。

事例をご紹介します。満を持してチャレンジにのぞんだAさん。でも、たちまち現実を思い知らされ、自分のやろうとすることに迷いが生じました。何とかそれを払拭しようと書店に長い時間いてようやく手にした一冊の本。「おかげで、断念せずに済みました」と言うほど、そこに書かれていた内容の全体が、“わたしの想っていることはズレていない、このままでいい…”と自信をとり戻させてくれたそうです。

それからもAさんの孤軍奮闘は続くのですが、気持ちは刷新されました。そして1年が過ぎる頃、知人の主宰する交流会で挨拶を交わした人、ほんのちょっと会話しただけなのに、後日少し訪ねたいと連絡あり、何の用だろうと思いつながりながらOKして、小一時間ほど話すうちに“こんな風に理解してくれる人は、初めて…”。するとしばらくして、仕事の打診があり、ご縁ができたのです。

ここにきて、“えっ?!まさか…”と思いあたった。なんと、自信をとり戻させてくれた本を出版していたのが、その人の会社だったのです。“こんなことがあるのか…”と驚き、過去と現在がつながった感じがなんとも不思議で、でも遅かれ早かれ出会うようになっていたようにも思えたそうです。

別のBさんから最近聞いた話も興味深い。5年前のチャレンジした頃の頃に知り合った人がいて、やりたいことをいろいろ話したそうです。すると後日また会った時に「わたしはもう使わないと思うからあなたに譲る」といって、あるモノをもらったそうです。当時はそれが自分にどれほど役立つのか、あまりピンとこなかった。でも5年過ぎた今、輝いて見えるということです。昨年から取り組んでいる新しい学びになんとも役立つ。「自分の手元に今あるのが不思議で、不思議で…」。

「偶然は必然」という言葉があるように、細かく分析すれば、偶然と思えることを創っているのは自分自身ではないでしょうか。何気ない日常、出会いに何か未来につながるものがあるかもしれない、そんな知性、感性をもちたいものです。そういえば、江戸時代、徳川家に仕えた柳生宗矩の「家訓」はそのあたりを突いているのかもしれない。『小才は縁に出あって縁に気づかず 中才は縁に気づいて縁を生かさず 大才は袖すり合った縁をも生かす』。

さあ、みなさん、AI 実用社会で際立つあなた自身の意識、知識、技能、センス。それらから生まれる構想力、企画力、行動力を発揮して、あなたとあなたの身近な世界の未来をよりよくしていきましょう。「女性チャレンジ応援拠点」のスタッフ一同、引きつづき、応援していきます!

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※ 開室日

※ 日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

